



令和5年  
南加納保育園

「おにはそと♪ふくはうち♪」子どもたちの元気な歌が聞こえてきます。暦の上では春が近いとはいえまだまだ寒い日が続きますが、晴れた日は園庭で体操やマラソンをして、寒さに負けない体づくりに励んでいます。  
体調に気を付けながら、元気に過ごしていきたいと思います。

2月行事予定	
1 水	安全点検・エコ活動の日
2 木	豆まき
3 金	スポーツ教室（年中、年長）
4 土	マラソン大会
5 日	
6 月	
7 火	身体計測（以上児）
8 水	身体計測（未満児）・ダンス教室
9 木	交通安全教室・交通指導
10 金	誕生会
11 土	建国記念日
12 日	
13 月	
14 火	さくらんぼリズム
15 水	絵画教室
16 木	エコ活動の日
17 金	スポーツ教室（年少、年長）
18 土	
19 日	
20 月	
21 火	
22 水	
23 木	天皇誕生日
24 金	避難訓練
25 土	
26 日	
27 月	英語教室
28 火	



### 2がつうまれのお友だち



- こおろぎ ふみさん (1さい)
- かめだ せいれんさん (1さい)
- くろき うるはさん (2さい)
- おちあい こよみさん (2さい)
- くしやま りんさん (3さい)
- なかはた ななさん (3さい)
- くろき ひなさん (3さい)
- こおろぎ みおさん (4さい)
- みすさき ゆきとさん (4さい)
- うちむら あやかさん (5さい)
- こんどう ちふゆさん (5さい)



### からだの絵本



#### 「つめかみ おばけ」 よしむら あきこ作

女の子が爪を噛んでいるとその様子を見ていたオバケが「つめっておいしいの？」と女の子の中に入ります。

さっそくガジガジ…でも女の子の爪は短くて噛めません。

それならと今度はお母さんの中に入って爪を噛みます。

「おかあさん、やめてよ。おかしいよ。」驚くのが面白くなったオバケは街に出て、次から次へと人の中に入って驚かします。そのうち爪の中のバイ菌がオバケの中に入って、お腹を壊してしまいます。

爪を噛んだり、爪が無いどうなるかを教えてくれる絵本です。



★2日から4日まで保育参観です。

マラソン大会はくまぐみ、らいおんぐみ、そうぐみが参加します。  
お楽しみに！

★13日～27日まで宮崎学園短期大学の実習生が保育実習にみえる予定です。

★送迎時のマスク着用や手指の消毒を行っていただきますよう、  
ご協力をよろしくお願ひいたします。





清武社会福祉会  
2月号

寒い日が続きますが、静かな春の足音も時折聞こえてきます。今年度も残り2ヶ月になりました。お子さまも集団生活に慣れて、体力もついてきました。寒い冬を元気に乗り越えられるよう、引き続き感染予防対策を行いましょう。



## しもやけ・あかぎれ



## しっかりケアしましょう！

### ●しもやけは寒さが原因

しもやけは手足が冷えて血行が悪くなるために起こります。特に雪遊びなどで冷たくぬれた状態が長時間続いたときに、起こりやすいようです。

### ●お湯で温める

しもやけの部分をぬるま湯につけて、血行をよくします。小さな子どもならそのまま入浴させてもよいでしょう。またしもやけ予防のためには、ぬれた手袋や靴下をそのままにせず、乾いたものにかえましょう。



### ●あかぎれは乾燥が原因

空気が乾燥すると、皮膚のうるおいも失われます。特に手は外気に触れやすく、手洗いで乾燥しがち。手の甲ががさがさしたり、ひどいときはひびわれができると血が出たりします。

### ●ハンドクリームなどで保湿する

手を洗ったら、あかぎれの治療と予防をかねて、クリームで保湿します。あかぎれをこすると痛むので、やさしく塗ってあげましょう。



## 豆まき、ちょっと工夫しましょう

2月3日は節分の日。豆まきは楽しい行事ですが、いり豆は窒息の原因となりやすい食べ物です。喉につまらせたり、くだけた豆が気管に入り、誤嚥を生じることがあります。

くだいた豆も危険です。また、家の中にまいた豆を拾って口に入れないように注意しましょう。

### 豆を食べるときは・・・

★ピーナッツ・アーモンド等のナッツ類にも注意しましょう！



### ●落ち着いて食べる

きちんと座らせ、大人が見守るところで食べさせましょう。

●水分といっしょにとるのどをうるおして、飲み込みやすく

## <感染症情報>

清武町内では 感染性胃腸炎、インフルエンザA型、新型コロナウイルス感染症 等の報告がありました。

手洗い、うがい、3密（換気の悪い密閉空間・多数が集まる密集場所・間近で会話や発声をする密接場面）を避ける、十分な換気を行うなどの感染予防対策を行い、身体を守りましょう。

またバランスの良い食事を行い、早めの休息を心がけて、感染症に負けない身体づくりをしましょう。